

	<h1>れんごう下越</h1>	<p>第 146 号</p> <p>2018.7.15</p> <p>発行人 福井 正史</p> <p>1部5円 購読料は会費に 含</p> <p><b>En la union Esta la fuerza</b></p> <p>団結こそ力</p>
<p>日本労働組合総連合会新潟県連合会・下越地域協議会 957-0054 新発田市本町 1-1-6 総合生協会館内 TEL0254-26-3705 FAX0254-26-0556</p>		

## 連合下越地域協議会第 41 回地協委員会開催される



下越地協は、7月6日（金）15時より新発田市地域交流センターにおいて、各構成組織から出席・委任含め49名にて第41回地協委員会を開催しました。議長にJP労組下越支部小林範広さんを選出し、福井地協議長より「下越地協は広域で各支部活動が基本です。春季生活闘争支援、メーカー等地域の運動を進めていきます」と挨拶がありました。来賓の連合新潟小林事務局長からは、連合新潟第62回地方委員会での2018春季生活闘争中間まとめの提案内容の報告と、2018新潟知事選挙の協力について御礼の挨拶がありました。2018年前半の活動報告では「STOP THE 格差社会暮らしの底上げ」「下越地区労福協・下越ライフサポートセンター事業」などの報告があり、質疑応答の後、満場一致の拍手で承認されました。

その後、中間会計報告、同監査報告が承認され、審議事項である2018春季闘争のまとめでは、全国的な月例賃金の底上げへのこだわりにより

5年続けて賃上げ（ベースアップ）を獲得、また、連合では3年目となる「大手追従・大手準拠」取り組みが浸透し、中小が大手を上回る回答を引き出しました。7月6日連合最終集約結果では、ベースアップと定昇を合わせた平均賃上げ率は2.07%でした。下越地協では厳しい企業環境の中、人材不足等の関係でベースアップを実施した企業もありました。今後も「底上げ・底支え」の賃金要求は継続的な運動で「働くことを軸とする安心社会」に向けて取り組む事を確認しました。2018年後半の活動では、下越地協のターゲット組合の組織化、最低賃金引き上げに関する自治体要請、最低賃金周知活動、平和運動、食と環境への取組等、全ての議事は満場一致の拍手により承認されました。「役員交代の承認に関する件」では2月の各支部総会で支部長交代に関して承認を受けました。最後に、福井議長の団結ガンバローで無事終了しました。

## 連合平和運動 平和で安定した社会・暮らしの実現をめざして

私たちがめざす「安心して暮らし、働き、労働運動に携わることのできる社会」の実現には、「社会が平和で安定していること」が大前提です。戦争はあらゆる社会基盤を破壊します。そのため連合は平和運動に積極的に取り組み、世論を巻き起こし、地球規模での“絆づくり”を進めることで、平和で安定した社会・暮らしの実現をめざしているのです。

### いまも残る 70 余年前の戦争の爪痕

「平和」であることがあたりまえ…とっていませんか？ しかし、いまだ戦争の爪痕に多くの人が苦しんでいるのです。世界で唯一原爆が投下され、後遺症に苦しむ広島と長崎、米軍基地が多く置かれ過度な負担を強いられる沖縄、領土を奪われ多くの住民が故郷を失った北方四島においては、戦後 70 年以上が経った今も真の平和、安定した社会の実現は成されていません。

連合は平和運動として主に、次の 3 つの課題に取り組んでいます。

1. 核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化
2. 在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しに向けた運動
3. 北方領土の早期返還と日ロ平和条約の締結をめざす運動

また連合は、毎年 6 月～9 月に行う「平和 4 行動」をはじめ、労働組合やさまざまな団体・機関と協同して平和運動を推進しています。

## 連合下越地協平和運動

新発田市では、非核平和都市宣言に伴う様々な平和事業を展開しているところですが、本年も「しばた平和のつどい」を下記のとおり開催致します。連合といたしましても、21 世紀を「平和・環境・人権」の世紀とし、6 年前より平和活動として新発田市と協同にこの事業に取り組んで参りました。連合は、毎年 6 月から 9 月までを平和強調月間として、各地で様々な平和に関するイベントを展開しています。何卒、趣旨ご理解の上、組合員及びご家族でご参加頂きますようお願い申し上げます。

# しばた平和のつどい

## 8月11日(土・祝)10:00～12:00

会場 ヨリネスしばた 4階 議場

1. 広島平和記念式典参加生徒による感想報告・意見交換  
(10:00～10:50)
2. 講演会  
講師：柳沼 宏寿さん  
「戦争と子どもの表現  
～国際比較によって見えてくる平和への道標～」  
(11:00～12:00)



「ヒロシマ・ナガサキ」から73年目の夏を迎えます。「ヒロシマ・ナガサキ」の悲劇を繰り返さず、平和への思いを引き継ぐよう、「しばた平和のつどい」を開催します。